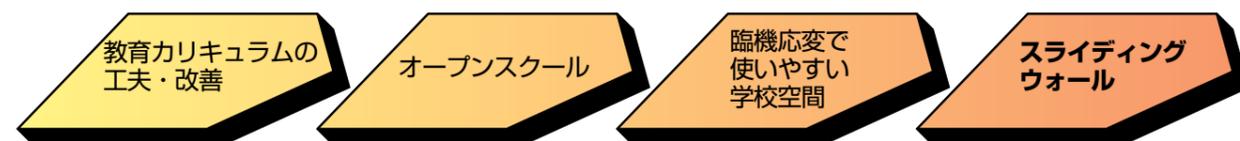


学習空間をフレキシブルにレイアウト 移動式間仕切「スライディングウォール」

画一的な教育から子どもの学習意欲を引き出す教育をねらった「オープンスクール」に取り組む学校が増えてきました。クラスのカベを越えて、生徒をのびのび育てるオープンスクールは、学校空間にも柔軟性の高い機能を求めています。

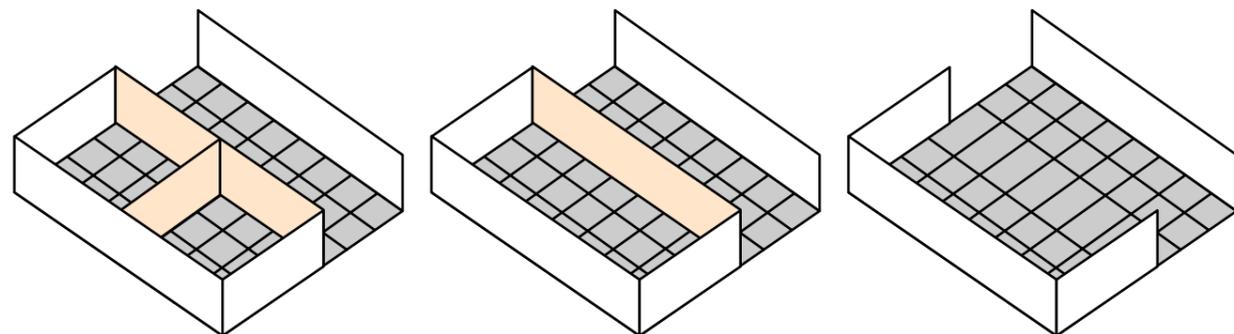
移動式間仕切「スライディングウォール」なら、固定化されたスペースを手軽に短時間に多目的スペースに変えられ、教育の幅をグンと広げます。



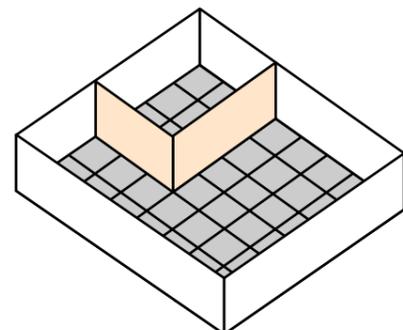
「2クラス合同授業」から「多目的展示ホール」まで、移動式ならできます。

間仕切を収納すると生徒の自由な創作活動の場、設置すれば快適な学習空間。スライディングウォールなら目的にあわせた空間が出来ます。

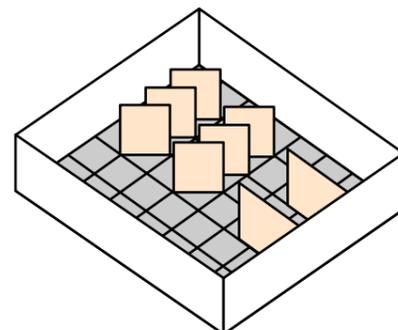
●一定の区画を開閉する



●自由に部屋や空間をつくる



●掲示や展示空間をつくる



用途や場所にあわせた3タイプをご用意しております。

突板貼集成材とLVL材を使用。
厳選された木材が育むオープンスペース

木製仕様
SAW105AS



P51~

スチール枠に木製建具を
組み合わせたスライディングウォール

複合仕様(スチール枠+木製パネル)
SCW100S



P57~

スチール製スライディングウォール

スチール仕様
SA80S



P59~

BX

いきいきとした空間づくりを自在に演出、 スペース活用例

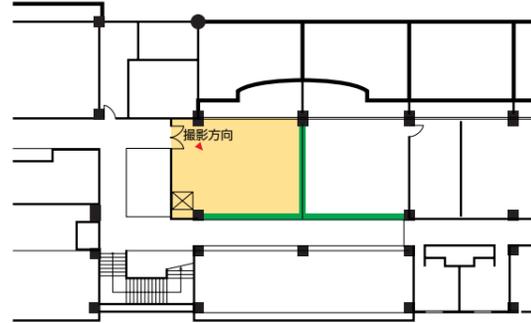
使用例-1

多目的スペースを
スライディングウォールで
有効活用

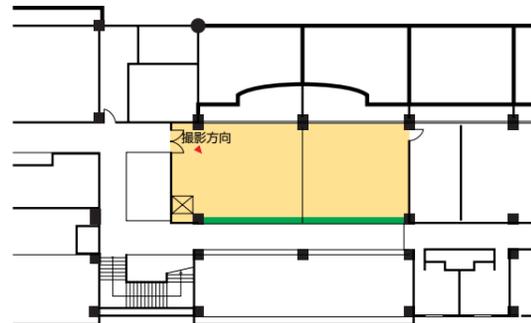
- パターン1：
多目的スペースを2つに分けて、2
クラス独立した授業を。
- パターン2：
1つのスペースで数クラス合同の授
業を。
- パターン3：
間仕切をすべて収納して大空間の遊
戯スペースに。



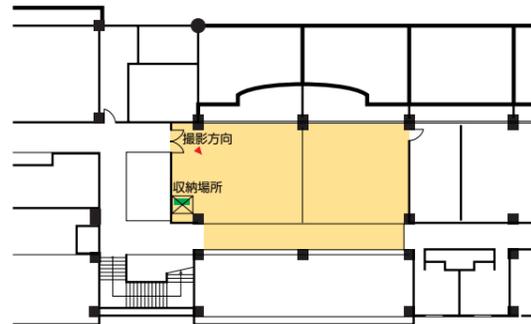
パターン-1



パターン-2



パターン-3



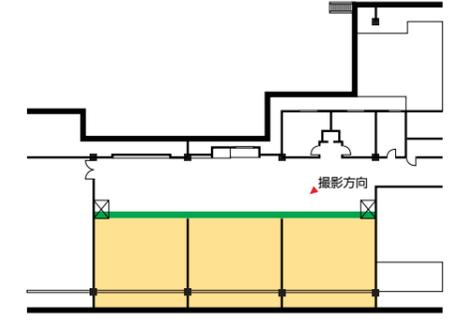
使用例-2

3つの教室を
スライディングウォールで
オープンスクールに

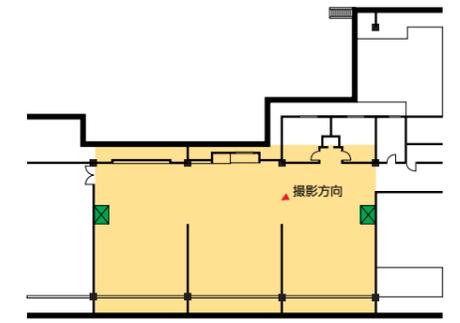
- パターン1：
通常は3つの教室として使用。
- パターン2：
間仕切を移動させれば、広々とした
オープンスクールに。
- パターン3：
収納されたパネルは教室の隅へ。



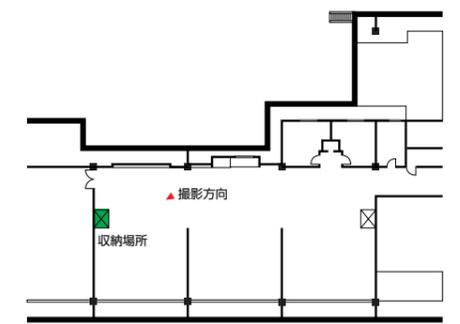
パターン-1



パターン-2



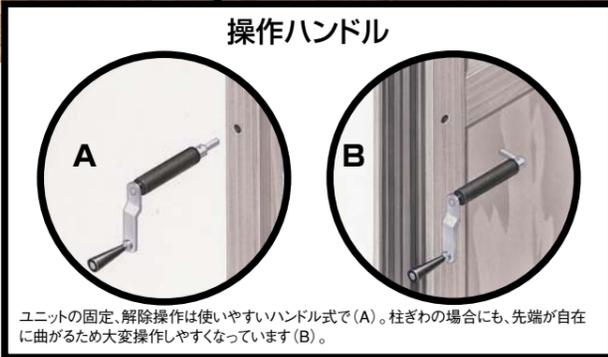
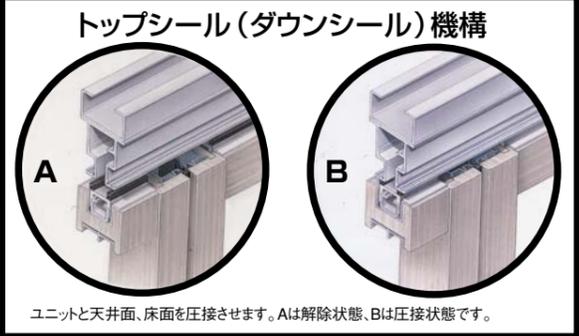
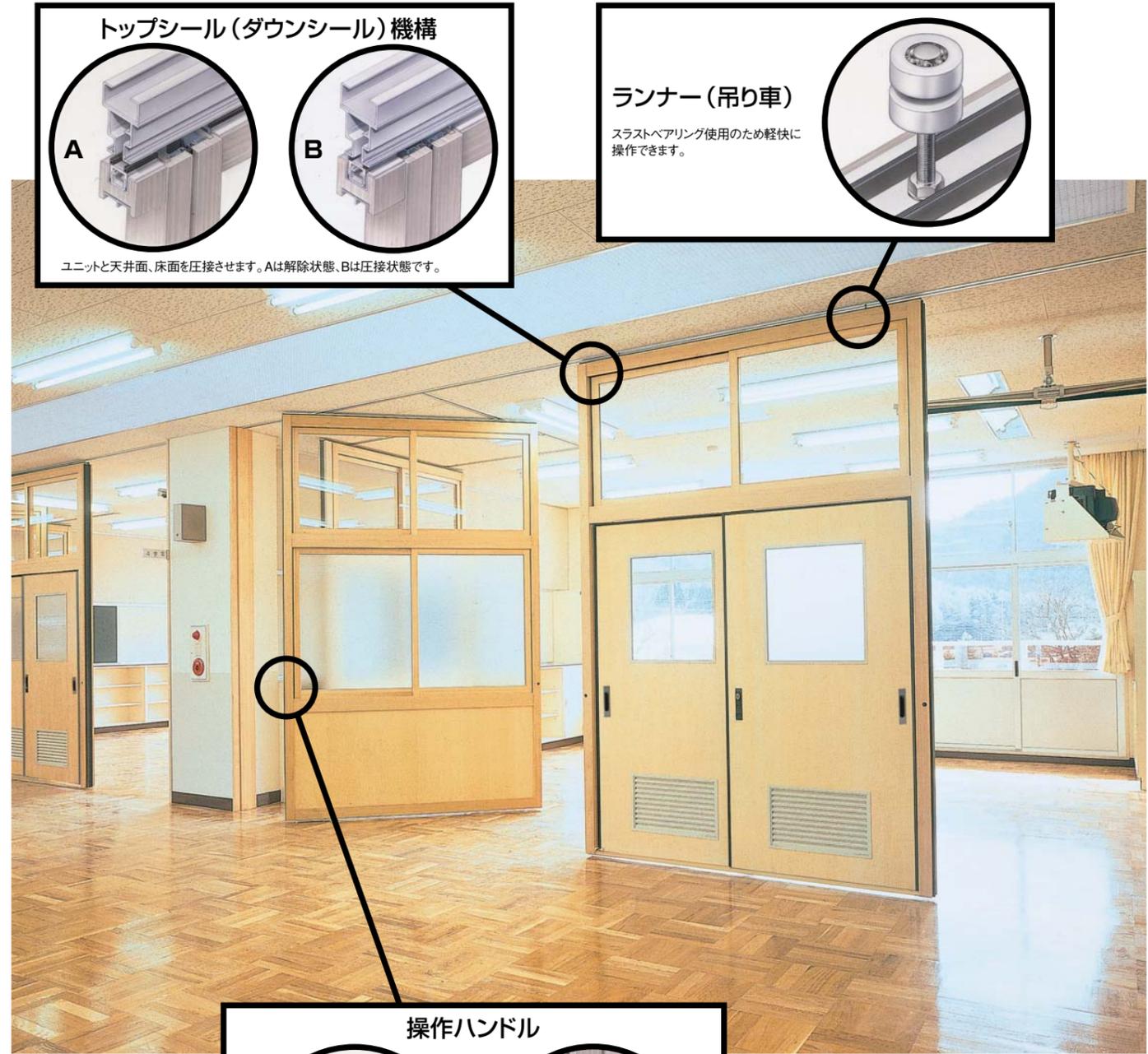
パターン-3



BX

長年のノウハウと優れた機能を凝縮、高品質メカニズム

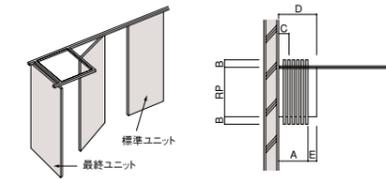
文化シャッターの移動式間仕切「スライディングウォール」は、学校用間仕切の設計・製造で培った文化シャッターの高度な技術、品質、ノウハウを駆使して開発されています。移動式ながら安全性・耐久性に優れた設計と主要材を用い、操作性や遮音性を高めるために数々のメカニズムを採用しています。



軽い力で簡単に、場所をとらないコンパクト収納

移動式間仕切収納方法基本例

A型(直角納)

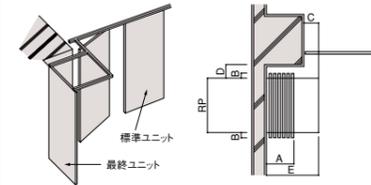


A: (枠見込+10)×枚数+100以上
 B: 基準寸法 230mm (ただし180mm以上)
 C: 標準寸法 B+40mm (B+125mm以上)
 D: A+E寸法以上
 E: B寸法以上

Bは、サイドシールユニットの可動壁枠側のPWからのランナー位置。
 B'は、標準ユニットのPWからのランナー位置。
 Cの()内の寸法は、サイドシールユニットを使用しない場合です。

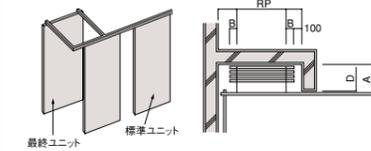
※SAW105ASの基準寸法は、Bが240mm、B'が160mmになります。

C型(誘導納)



A~CについてはA型と同様
 D: B+100以上
 E: A+C以上

D型(平行納)



A~CについてはA型と同様
 D: 100以上

移動式間仕切収納バリエーション

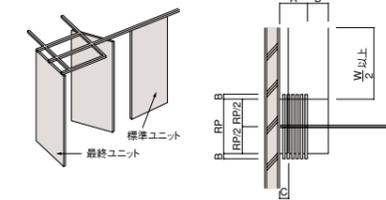
収納場所の複数設定

ユニット数が多い場合、または柱の突出よりユニット収納時に出したくない場合は2カ所以上に収納場所を設定することができます。

間仕切位置の変更

間口寸法が同じ場合、間仕切位置を変えることもできます。

B型(中央納)



A~CについてはA型と同様
 D: B寸法以上

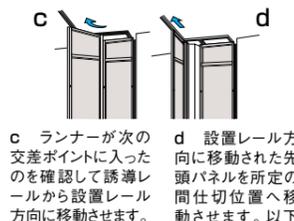
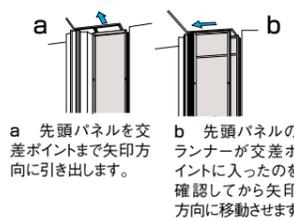
ハンドルをまわして位置をあわせる——誰にでもできるシンプル操作

移動式間仕切操作手順

手順1



収納されている先頭パネルの操作ハンドル孔へ操作ハンドルを差し込み、左方向に15~20回程度回転させてシール機構を解除し、収納庫から先頭パネルを静かに引き出します。



手順2



設置フレーム部へ移動された先頭パネルをサイドフレーム(エンド柱)に、静かに押しあてます。

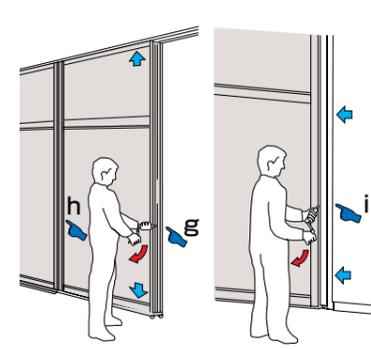
手順3



操作ハンドル 右回し...固定 左回し...解除

先頭パネルの操作ハンドル孔へオペレーターハンドルを差し込み、右方向に15~20回程度回転させます。回転が重くなったら、操作を中止してください。上下のシール材とサイドシール材が床と壁に圧接されます。操作ハンドル孔はパネルの右と左の2カ所にあります。左右同様に操作をしてください。(図中のeとf) 以下、手順2と手順3を最終パネルまで繰り返します。

手順4



最終パネルの操作ハンドル孔へオペレーターハンドルを差し込み、右方向に15~20回程度回転させます。回転が重くなったら、操作を中止してください。上下のシール材とサイドシール材が床と壁に圧接されます。操作ハンドル孔はパネルの右と左の2カ所にあります。左右同様に操作をしてください。(図中のgとh) i サイドフレームの操作ハンドル孔へオペレーターハンドルを差し込み、右方向に回転させ最終パネルとサイドフレームを十分に密着させます。 ※解除の操作はこれまでの操作を逆に行ってください。